

1 入館（県立武道館）について

- (1) 大会当日に入館できるのは、選手・監督（※）・審判員・役員・救護係・補助員のみとする（無観客）。

※ 各所属の監督者は1名のみとする。その他の者の入場者は認めない。

- (2) 開館は8時とし、個々での入館はできない。選手は各所属チームでまとまって入館する。入館の際、「健康チェックシート」を代表者がまとめて提出する。

※ 上記書類に不備があった場合は入館できない場合もある。

- (3) 入館時はマスク着用とする（原則、出館時までマスク着用）。
- (4) 入館時は1列に並び入館し、サーモグラフィーにて検温を行い「37℃」以上の者は、体温計で再検温し、「37℃」以上であれば入館させない。

2 更衣について

- (1) 更衣場所については、入場の際に案内する。
- (2) 更衣後、全ての荷物は観客席に運び、各所属チームでまとめて置く。その後、会場に入る。更衣室での休憩・飲食は禁止とする。

3 観客席について

所属ごとに場所を指定し、各々で密にならないように待機する。

4 練習会場について

- (1) 武道館内の移動はマスク着用とする（ウォーミングアップ時は外してもよい）。
- (2) ウォーミングアップにおいても、所属チームごとに会場を指定する。
- (3) ウォーミングアップ終了後は、観客席で待機する。

5 開会式・表彰式・閉会式について

- (1) 開会式の参加選手は各会場第2試合目までのチームが参加とし、その他の選手は観客席において待機とする（選手合計32名程度）。
- (2) 参加者全員マスク着用の上、1メートル以上の距離をとる（役員・審判・救護係・補助員・選手）。
- (3) 閉会式の参加選手は被表彰チームのみの参加とする。
- (4) 簡素化を図り短時間で終了する。

6 試合時について

- (1) 選手は、試合前及び試合後には手指消毒を徹底する（各会場に消毒液あり）。
- (2) 試合直前にマスクを外すが、マスクは必ず各自で用意した袋等に入れる。
- (3) 試合のない選手は必ずマスクを着用する。
- (4) 監督、選手は次の試合をするチームのみ試合会場に入場できる。試合終了後はチームごとに速やかに観客席に戻る。
- (5) 選手は会場で、指定された待機場所でチームごとに待機する。
- (6) 試合場・観客席からの声を出しての指示、応援は禁止する（「まで」の間の監督の指示は可）。
- (7) 審判については主審、副審全てがマスク着用とする。

7 消毒について

- (1) 全ての者が会場入退時に、その都度「手指消毒」を行う（各会場に消毒液あり）。
- (2) 団体戦の3試合（9試合）を目途に試合場畳を消毒する。

8 飲食について

- (1) 観客席での軽食は認めるが、控室や更衣室での飲食は禁止する。対面での飲食は禁止する。
- (2) 役員等の当日の昼食（弁当）は準備しない。

9 その他

- (1) 参加チームは大会2週間前から他の道場との出稽古、合同稽古を禁止する。
- (2) 本年9月23、24日の両日に東京講道館で開催される高段者柔道大会に出場する選手については、今大会の出場は認めない。
- (3) 大会終了後2週間以内に感染が発生した場合は、直ちに大会事務局への報告を義務付ける。